

イデックスオイルレポート ~For a month~

2022年6月1日作成 株式会社新出光

【月次概況】

●第1週、週末5/6のWTI原油は、先週比5.08ドル安の109.77ドルとなりました。欧州連合(EU)によるロシア産原油の禁輸方針を受けて前週に上昇した反動から週明けは利益確定の売りが先行しました。中国で新型コロナウイルスの感染が再び拡大し、上海市でロックダウン(都市封鎖)が長期化しています。これを受けて景気が鈍化しエネルギー需要にも影響が及ぶのではないかと見方が広がって原油は売られました。また米連邦準備制度理事会(FRB)の金融引き締め方針を背景に景気減速懸念も強まり、米株相場が大幅安となり原油もつれ安となりました。

●第2週、週末5/13のWTI原油は、先週比0.72ドル高の110.49ドルとなりました。欧州連合(EU)による経済制裁で日量300万バレル程度のロシア産原油の供給が失われるとの見方が引き続き相場を支援しました。また厳格な新型コロナウイルス対策を実施する中国の国務院(内閣に相当)が景気を支援する方針を示したことも好感され相場は上昇しました。

●第3週、週末5/20のWTI原油は、先週比2.74ドル高の113.23ドルとなりました。中国上海市のロックダウン(都市封鎖)が緩和の方向となっている状況のほか、欧州連合(EU)によるロシア産石油の輸入禁止に向けた動きが引き続き相場の支援要因となっています。一方で米連邦準備制度理事会(FRB)の積極的な金利上げに伴う景気減速懸念、外国為替市場でのドル高・ユーロ安が相場の重しとなりましたが底堅く推移しました。

●第4週、週末5/27のWTI原油は、先週比1.84ドル高の115.07ドルとなりました。EUは、ウクライナ侵攻を続けるロシアに対する追加経済制裁の一環で、ロシア産原油の輸入禁止を検討しています。30、31日両日の首脳会議をにらみロシアへの依存度が高く、反対姿勢を示しているハンガリーなどの調整を継続しており合意に達する可能性があります。ただ、EUによるロシア産石油の禁輸が実現すれば「1980年代型の石油危機が本格化する恐れがある」との懸念が強く買いが優勢となりました。米国では、週末の3連休から夏のドライブシーズンが本格化します。ガソリン需要の増加による原油需給の逼迫懸念も相場の支えとなっています。

| | | | | | | | | | |
|--|------|-------|----------|-----|--------|--------|---------|-----|-------|
| | 5月平均 | WTI原油 | 109.26ドル | 前月比 | 7.62ドル | 為替 1ドル | 129.81円 | 前月差 | 2.83円 |
|--|------|-------|----------|-----|--------|--------|---------|-----|-------|

| 日付 | 補助金 | 変動幅 | 変動幅 |
|-----------|------|------|------|
| 5/1~5/4 | 31.8 | +5.0 | +5.0 |
| 5/5~5/11 | 31.8 | ±0 | ±0 |
| 5/12~5/18 | 34.7 | +2.5 | +2.5 |
| 5/19~5/25 | 36.1 | -3.0 | -3.0 |
| 5/26~5/31 | 37.3 | +3.5 | +3.5 |

| メニュー価格推移 平水湾内T/S持ち届け (サイト60日) | 0.5HPP | | ENEOS LS船用燃料油基準価格 | |
|-------------------------------------|------------------|---------|------------------------------|-----------------------------|
| | 2022年1-3月C重油決定価格 | 76,550 | 78,550 | 【76,550(メニュー)+2,000(プレミアム)】 |
| 2022年4-6月C重油決定価格 | 102,560 | 107,770 | 【102,560(メニュー)+5,210(プレミアム)】 | |
| 2022年4-6月C重油決定価格 決定価格1-3月比 | | | | |

| 内航燃料油価格推移 | 適合油価格 | | A重油 | |
|-------------------------------|------------------|---------|---------|--------|
| | 2022年1-3月C重油決定価格 | 84,300 | 84,300 | 94,400 |
| 2022年4-6月C重油決定価格 | 104,200 | 104,200 | 107,400 | |
| 2022年4-6月C重油決定価格 決定価格1-3月比 | | | | |

| CIF価格推移 | 年/月 | 9桁速報 | 原油CIF価格 | 通関CIF | 為替レート | 原油CIF価格 |
|---------|------|------|---------|--------|--------|---------|
| | | | 円/kl | ドル/bbl | 円/ドル | 前月比 |
| | 22/4 | 9桁速報 | 83,246 | 107.77 | 122.81 | 16,359 |
| | 22/5 | 最終予測 | 87,501 | 107.79 | 129.06 | 4,255 |
| | 22/6 | 展望 | 86,644 | 110.20 | 125.50 | -857 |
| | 22/7 | 展望 | 83,730 | 110.93 | 120.00 | -2,914 |

【次世代エネルギー】

<三菱重工、新型原子炉で水素量産 鉄鋼メーカーの脱炭素後押し>

三菱重工業は日本原子力研究開発機構と、次世代原子炉の高温ガス炉で大量の水素を製造する実証を始めました。900度C以上の核熱を利用することで、原子力エネルギーを発電だけでなく水素製造にも生かし2030年までに技術を開発する方針です。実用化後は国内の二酸化炭素(CO2)排出量の約14%を占める鉄鋼業での水素還元製鉄への活用など、産業界の脱炭素化への貢献を目指します。原子力機構の高温工学試験研究炉(HTRR、茨城県大洗町)で実証します。高温ガス炉に水素製造設備を新たに接続し、HTRRから得た高温熱を活用して大量製造します。22年度は水素製造設備の設計や実証炉を見据えた高温隔離弁などの機器の開発計画を検討します。鉄鋼業では、高炉に投入するコークスの一部を水素で代替し、段階的に水素の添付割合を高めてCO2を低減する水素還元製鉄の実用化が、カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)に不可欠ですが、大量の水素を必要とします。三菱重工は高温ガス炉で製造した水素を主に水素還元製鉄向けに提供することを目指します。

出典 ①<https://news.yahoo.co.jp/articles/927b9226382d490a7e26eec60b5c20c1f2f0f548>

②<https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00155/041900081/>

【6月価格変動要因】

●需要:上海のロックダウンは、6月には解除される方向で需要の回復もようやく目途が立ちそうな状況になってきました。5月30日に米国はドライブシーズン入りしました。ガソリン価格の高騰にもかかわらずアフターコロナを満喫するものと見られています。

●供給:米国を中心にさらなる戦略備蓄の放出を進めたが中間留分を中心に供給は追いついていない状況です。OPEC生産量が未達なことはもとより米国シェール勢も頭打ちの兆候を見せており供給不足はさらに深刻化する可能性があります。

●在庫:米国の原油在庫は過去5年で最低水準で推移しています。製品についてもガソリンが過去5年で最低水準にあります。ドライブシーズン開始直後にはあきらかに不足気味です。SPR補充計画が発表され23年以降の買戻しとの見方から23年以降に上昇する可能性があります。

●リスク資産:米国の株式市場は調整地合いを継続中です。S&P500やナスダック指数は年初来安値を更新しました。株式市場が軟調な中、FRBは、6月14、15日のFOMCでさらなる0.5%の利上げを実施する予定です。マーケットのセンチメント悪化が懸念されます。

●地政学:引き続きロシア・ウクライナ情勢の長期化がメインテーマです。欧州は、ロシア産原油の輸入禁止をまとめきれておらず欧州内で意見対立が続く可能性があります。

【6月価格変動要因】 (単位:US/bbl)

| | Brent | WTI |
|---------|-------|-----|
| High | 130 | 125 |
| Average | 115 | 110 |
| Low | 105 | 102 |

| 日付 | 国 | 6月経済指標カレンダー | 日付 | 国 | 6月経済指標カレンダー |
|----|---|--------------------------|----|---|---------------------------|
| 1 | 米 | 5月ISM製造業景況指数 | 10 | 米 | 5月消費者物価指数(CPI) |
| 2 | 米 | 5月ADP雇用統計 | 15 | 米 | 5月小売売上高 |
| 3 | 米 | 5月非農業部門雇用者数変化 | 15 | 米 | 米連邦公開市場委員会(FOMC)終了後政策金利発表 |
| 3 | 米 | 5月失業率 | 15 | 米 | パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長定例記者会見 |
| 3 | 米 | 5月平均時給 | 17 | 欧 | 5月消費者物価指数(HICP、改定値) |
| 3 | 米 | 5月ISM非製造業景況指数 | 24 | 米 | 5月新築住宅販売件数 |
| 8 | 欧 | 1-3月期 四半期域内総生産(GDP、確定値) | 29 | 米 | 1-3月期 四半期実質国内総生産(GDP、確定値) |
| 9 | 欧 | 欧州中央銀行(ECB)政策金利 | 30 | 米 | 5月個人消費支出(PCEデフレター) |
| 9 | 欧 | ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁、定例記者会見 | | | |

当レポートは、情報提供のみを目的としておりますので取引の判断については、御自身で行って頂くようお願い致します。